

# Dynatrace.Dynatrace-Associate.v2026-06-20.q28

|           |  |
|-----------|--|
| 試験コード :   | Dynatrace-Associate                    |
| 試験名称 :    | Dynatrace Associate Certification Exam |
| 認証ベンダー :  | Dynatrace                              |
| 無料問題の数 :  | 28                                     |
| バージョン :   | v2026-06-20                            |
| ページの閲覧量 : | 106                                    |
| 問題集の閲覧量 : | 313                                    |

<https://www.jpnsiken.com/shiken/Dynatrace.Dynatrace-Associate.v2026-06-20.q28.html>

## 質問: 1

Dynatraceのグローバルな合成モニタリング拠点ネットワークを利用してアプリケーションを監視したいのですが、どの機能を使えばそれが可能でしょうか？

- A. Dynatraceアプリ
- B. パブリックシンセティックス
- C. プライベートシンセティックス
- D. 合成オンデマンド実行

正解: ([正解を表示します](#))

Public Syntheticsは、Dynatraceのグローバルネットワークを利用して、さまざまな地域からのアプリケーションのテストを実施しています。

\* グローバルな可用性テストに最適

\* インフラ設定は不要です

プライベート合成樹脂は屋内環境向けです。

参考資料 :Dynatrace Universityの公式トレーニング資料「合成監視」に基づいています。

## 質問: 2

ログ取り込みルールは、どの環境レベルで設定できますか？

- A. アクティブゲート
- B. ホスト
- C. 環境
- D. プロセスグループ
- E. ホストグループ

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatraceにおけるログ取り込みルールは、環境レベルで設定されます。

これにより、以下のことが保証されます。

\* ログ取り込みの一元管理

\* 監視対象エンティティ全体にわたる一貫した処理とフィルタリング

\* プラットフォームに入力されるすべてのログの統一設定

その他のオプションは有効な構成レベルではありません。

\* ActiveGateはルーティングを処理しますが、ルール設定は処理しません。

\* ホスト、プロセス グループ、およびホスト グループはエンティティ レベルであり、取り込みルール スコープではありません。参照: Dynatrace University の公式トレーニング資料のログ監視と取り込み構成に基づいています。

### 質問: 3

ビジネスイベントデータをDynatraceに取り込むにはどうすればよいですか？

- A. Dynatrace OneAgent
- B. Dynatrace API
- C. ログ
- D. OpenTelemetry
- E. WebおよびモバイルRUM

正解: ([正解を表示します](#))

ビジネスイベントデータは、以下の方法でDynatraceに取り込むことができます。

- \* Dynatrace API - 構造化されたビジネスイベントをプラットフォームに直接送信できます
  - \* OpenTelemetry - オープンスタンダードを介したカスタムイベントデータの取り込みをサポートします。その他のオプションは正しくありません。
  - \* OneAgentは、ビジネスイベントではなく、可観測性データに焦点を当てています。
  - \* ログは独立したデータタイプであり、主要なビジネスイベントの取り込み対象ではありません。
  - \* RUMは構造化されたビジネスイベントではなく、ユーザーのインタラクションをキャプチャします
- これらのデータ取り込み方法により、ビジネスデータをDynatraceに柔軟に統合して分析することが可能になります。
- 参考資料 :Dynatrace Universityの公式トレーニング資料 [ビジネスイベントおよびGrail取り込みに関するもの](#)に基づいています。

### 質問: 4

Dynatraceプラットフォームの監視機能を拡張するための、公式にサポートされているDynatrace拡張機能はどこで入手できますか？

- A. GitHub
- B. Dynatraceコミュニティ
- C. Dynatrace Hub
- D. ダイナトレース大学

正解: **C** ([コメントを发表する](#))

Dynatrace Hubは、Dynatraceプラットフォームの監視機能を強化する、公式にサポートされている拡張機能の検索と管理を行うための中心的な場所です。Dynatraceが開発 保守する厳選された拡張機能コレクションを提供し、互換性とサポートを保証します。これらの拡張機能は幅広いテクノロジーとユースケースに対応しており、ユーザーは監視環境を特定のニーズに合わせてカスタマイズできます。

GitHubにはDynatrace関連の様々なオープンソースプロジェクトが存在しますが、すべてがDynatraceによって公式にサポートまたはメンテナンスされているわけではありません。Dynatraceコミュニティは、ユーザー間の議論、トラブルシューティング、ベストプラクティスの共有に役立つ貴重なリソースですが、公式拡張機能のリポジトリとしては機能していません。

Dynatrace Universityは、ユーザーがDynatraceを効果的に理解し活用できるよう、トレーニングや教育資料を提供していますが、拡張機能の提供元ではありません。

参考資料 :Dynatrace Universityの公式トレーニング資料および製品ドキュメントに基づいています。

#### 質問: 5

ビジネスイベントデータを照会するには、どの言語を使用する必要がありますか？

- A. 聖杯
- B. SQL
- C. DQL
- D. USQL

正解: **C** ([コメントを发表する](#))

Dynatraceは、Grailに保存されているビジネスイベントデータを照会するためにDQL (Dynatraceクエリ言語)を使用します。

DQLで可能なこと :

ログ、メトリクス、トレース、ビジネスイベントを横断的にクエリする  
高度なフィルタリング、集計、および相関分析

\* すべての可観測性データとビジネスデータにわたる統合分析

Grailはデータプラットフォームであり、クエリ言語ではありません。

Dynatraceでは、この目的でSQLは使用されていません。

USQLは旧式であり、Grailベースのクエリには使用されません。

参考資料 :GrailとDQLを網羅したDynatrace Universityの公式トレーニング資料に基づいています。

#### 質問: 6

トランザクションをエンドツーエンドで表示するために、どの属性が固有の値を提供しますか？

- A. スパンの種類
- B. プロセスID
- C. サービスタイプ
- D. W3CトレースID

正解: ([正解を表示します](#))

W3CトレースIDは、トランザクションに関与するすべてのサービスおよびコンポーネントにわたる分散トレースを一意に識別します。

これにより、以下のことが可能になります。

- \* リクエストのエンドツーエンドの可視性
  - \* 複数のサービスにわたるスパンの相関関係
  - \* 分散環境における完全なトレース再構築
- その他の属性は一意的な識別子ではありません。
- \* スパンの種類は、スパンの役割を表します
  - \* プロセスIDはトランザクションではなく、プロセスを識別するものです。
  - \* サービスタイプはサービスを分類します

W3CトレースIDのみが、完全なトランザクションに対してグローバルに一意的な識別子を提供する。

参考資料：分散レーシングに関するDynatrace Universityの公式トレーニング資料に基づいています。

#### 質問: 7

ログエントリの発生回数をカウントする必要があるのですが、Dynatraceのどの機能を使えばそれができますか？

- A. 異常検知ルール
- B. ログメトリクス
- C. イベントをログに記録する
- D. ログビューア
- E. 組み込みメトリクス

正解: **B (コメントを发表する)**

ログメトリクスを使用すると、ログの発生状況を測定可能なメトリクスに変換できます。

これらは以下を可能にする：

- \* 発生回数をカウントする
- \* しきい値とアラートの作成
- \* トレンド分析

その他の選択肢：

- \* ログビューア = 手動表示
- \* ログイベント = アラート
- \* 異常検知 = メトリックベース

参考資料：ログ分析に関するDynatrace Universityの公式トレーニング資料に基づいています。

#### 質問: 8

どの機能を使えば、合成モニターをCI/CDパイプラインに統合して実行を自動化できますか？

- A. HTTPモニター
- B. プライベート合成ロケーション
- C. オンデマンド実行
- D. 認証情報保管庫

正解: ([正解を表示します](#))

オンデマンド実行により、Syntheticモニターをプログラムでトリガーできるため、CI/CDパイプラインへの統合に最適です。

これにより、以下のことが可能になります。

\* デプロイ時の合成テストの自動実行

アプリケーションの可用性とパフォーマンスの検証

\* DevOpsワークフローとの統合

その他の選択肢：

\* HTTPモニターはテストタイプです

\* プライベートな場所では実行場所が定義されます

\* 認証情報保管庫には秘密情報が保存されます

CI/CDパイプラインにおける自動化をサポートするのは、オンデマンド実行のみです。

参考資料 :Dynatrace Universityの公式トレーニング資料「合成監視の自動化」に基づいています。

質問: 9

イベントカテゴリ「スローダウン」に関連する問題が発生しました。Dynatraceがデフォルトの異常検出設定を使用していると仮定した場合、この問題の根本原因となりうるエンティティタイプはどれですか？（該当するものをすべて選択してください）

A. アプリケーション

B. プロセス

C. ホスト

D. クラウドプロバイダー

E. サービス

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatraceでは、「パフォーマンス低下」の問題は通常、監視対象エンティティにおける異常検知によって検出されたパフォーマンス低下によって引き起こされます。

デフォルト設定の場合、動作が遅くなる問題の根本原因は通常、次の箇所で特定されます。応答時間の劣化が検出されたサービス

CPU、メモリ、またはその他のリソースのボトルネックが発生するプロセス

ホスト、インフラストラクチャレベルの問題がパフォーマンスに影響を与える

アプリケーションはより高レベルの集約であり、通常は根本原因となるエンティティとして特定されることはありません。

クラウドプロバイダーは、異常検知における根本原因エンティティとしては扱われません。

DynatraceのAI (Davis)は、これらのエンティティを関連付けて、トポロジーにおける最も可能性の高い根本原因を特定します。

参考資料：問題検出とDavis AIによる根本原因分析を網羅した、Dynatrace Universityの公式トレーニング資料に基づいています。

質問: 10

可観測性の3つの柱を挙げてください。

- A. 指標
- B. ログ
- C. 自動化
- D. 痕跡
- E. ダイナトレースラム

正解: ([正解を表示します](#))

可観測性の3つの柱は以下のとおりです。

- \* 指標 - 数値的なパフォーマンスデータ
- \* ログ - イベントベースの記録
- \* トレース - エンドツーエンドのリクエスト追跡

これらの柱は、システム動作を理解するための基盤となる。

その他の選択肢：

- \* 自動化は柱ではない
- \* RUMは、これらの柱の上に構築された機能です。

参考資料 :Dynatrace Universityで扱われている標準的な可観測性原則に基づいています。

質問: 11

問題の表示をサポートするトポロジーレベルを選択してください。(該当するものをすべて選択してください)

- A. 合成繊維
- B. プロセス
- C. ホスト
- D. アプリケーション
- E. サービス
- F. データセンター

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatraceの問題は、主要な監視対象エンティティ全体で確認できます。

- \* プロセス
- \* ホスト
- \* アプリケーション
- \* サービス

これらは、Davis AIが問題を関連付ける中核的なトポロジー層です。

その他の選択肢：

\* 合成環境とデータセンターは、問題ビューの主要なトポロジーレベルではありません。参照: Smartscape および問題分析に関する Dynatrace University の公式トレーニング資料に基づいています。

質問: 12

ユーザーの種類にはどのようなものがありますか？（該当するものをすべて選択してください）

- A. ロボット
- B. リアル
- C. 合成
- D. 人間

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatraceは、ユーザーの種類を主に実ユーザーと合成ユーザーに分類します。

\* リアルユーザーとは、アプリケーションとやり取りする実際の人間のユーザーを指します。ユーザーの行動は、リアルタイムのユーザー操作、パフォーマンス、およびユーザーエクスペリエンスを追跡するリアルユーザーモニタリング (RUM)によって記録されます。

\* 合成ユーザーとは、合成監視によって生成されるシミュレーションユーザーです。これらは、可用性とパフォーマンスを事前にテストするために、ユーザーの行動を模倣する自動化されたスクリプトです。

「ロボット」と「人間」という用語は、Dynatraceプラットフォームにおける公式なユーザータイプ分類ではありません。

Dynatraceは、監視と分析のために、実ユーザーと合成ユーザーという標準化されたカテゴリを具体的に使用しています。

参考資料 :Dynatrace Universityの公式トレーニング資料 (リアルユーザーモニタリングと合成モニタリングの概念を網羅)に基づいています。

### 質問: 13

利用可能なログ取り込みオプションを選択してください。（該当するものをすべて選択してください）

- A. Dynatrace拡張機能
- B. Dynatraceオペレーター
- C. Dynatrace Hub
- D. Dynatrace API
- E. Dynatrace OneAgent

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatraceは、ログを取り込むための複数の方法をサポートしています。

\* OneAgentは、監視対象のホストとコンテナからログを自動的に収集します。

\* Dynatrace APIを使用すると、ログをプラットフォームに直接プッシュできます。

\* Dynatrace Extensions を使用すると、特定のテクノロジーからのログを取り込むことができます。Dynatrace Operator は Kubernetes のデプロイに使用され、ログの直接取り込みには使用されません。

Dynatrace Hubは拡張機能のリポジトリであり、それ自体がデータ取り込みメカニズムではありません。

参考資料 :ログ監視および取り込み方法に関するDynatrace Universityの公式トレーニング資料に基づいています。

質問: 14

コンバージョン目標はどのような要素に基づいて設定できますか？（該当するものをすべて選択してください）

- A. 特定のユーザー操作
- B. セッション終了時のエラー数
- C. 宛先URL
- D. セッションあたりのアクション数
- E. セッション期間

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatraceのデジタルエクスペリエンスモニタリングでは、コンバージョン目標を用いて主要なユーザー行動とビジネス成果を測定します。これらの目標は、ユーザーセッションやアクションに関連する複数の基準に基づいて定義できます。

変換目標でサポートされている基盤は以下のとおりです。

- \* ボタンをクリックしたり、定義された操作を完了したりするなど、特定のユーザーアクション
  - \* 宛先URL。特定のページに到達した時点でコンバージョンが成功したことを示します。
  - \* セッションあたりのアクション数 (エンゲージメントレベルを反映)
  - \* セッション期間 :ユーザーがアプリケーションを操作した時間を示します。セッション終了時のエラー数は、コンバージョン目標を定義するための基準としては使用されません。むしろ、コンバージョンの成功を測定するよりも、セッション品質の分析に使用されます。
- 参考資料 :Dynatrace Universityの公式トレーニング資料 (リアルユーザーモニタリングとコンバージョン目標に関する内容)に基づいています。

質問: 15

Dynatraceプラットフォームでは、以下のどの機能が利用できますか？

- A. アプリケーションの可観測性
- B. インフラストラクチャの可観測性
- C. オープンソース
- D. ビジネスイベントモニタリング
- E. アプリケーションセキュリティ

正解: **A,B,D,E** ([コメントを发表する](#))

Dynatraceは、以下を含む包括的な可観測性プラットフォームを提供します。

- \* アプリケーション可観測性 - アプリケーションのフルスタック監視
  - \* インフラストラクチャの可観測性 - ホスト、クラウド、コンテナの監視
  - \* ビジネスイベントの監視 - ビジネスデータの収集と分析
  - \* アプリケーションセキュリティ - ランタイム脆弱性の検出と保護
- オープンソースは

Dynatrace プラットフォームの機能ではありません。

参考資料 :プラットフォームの機能に関するDynatrace Universityの公式トレーニング資料に基づいています。

質問: 16

障害発生率が高いサービスがある場合、最初に確認すべきサービスページはどれでしょうか？

- A. 比較
- B. 故障解析
- C. 応答時間のホットスポット
- D. 分散トレース

正解: ([正解を表示します](#))

故障解析ページは、高い故障率を調査するための主要な画面です。

提供するもの：

- \* エラーの内訳
- \* 故障パターン
- \* 根本原因指標

そのため、故障が増加した際には、まず最初に調査すべき場所となる。

参考資料 :Dynatrace Universityの公式サービス分析トレーニング資料に基づいています。

有効的なDynatrace-Associate問題集はJPNTTest.com提供され、**Dynatrace-Associate**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**Dynatrace-Associate**試験問題集を提供します。JPNTTest.com Dynatrace-Associate試験問題集はもう更新されました。ここで**Dynatrace-Associate**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/Dynatrace-Associate-mondaishu> **84問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

サポートされているテクノロジーの場合、KubernetesワークロードとPodは、従来監視されていたOneAgentプロセスとは異なる方法で監視されますか？

- A. はい、Dynatraceで監視する場合、ワークロードとポッドにはサービスデータは含まれません。
- B. いいえ、ワークロードとポッドはプロセスとまったく同じメトリックを表示します
- C. はい、詳細な監視情報を得るには、ワークロードとポッドにOpenTelemetryを計測する必要があります。
- D. いいえ、ワークロードとポッドはプロセスとは異なるメトリックを表示しますが、同じ一般的な情報を提供します。
- E. はい、OneAgentがDynatrace Operatorと共にインストールされている場合、Dynatraceにはプロセスではなくコンテナが表示されます。

正解: E ([コメントを发表する](#))

はい、KubernetesのワークロードとPodは、従来のOneAgentで監視されるプロセスとは異なる方法で監視されます。Dynatrace Operatorを使用してDynatraceをKubernetesにデプロイすると、OneAgentは実行時に各Podに自動的に挿入されます。つまり、各コンテナは個別に監視され、従来のプロセスではなく、コンテナエンティティとしてDynatraceに表示されます。

このコンテナベースの可視化機能は、Kubernetes環境の動的かつ短命な性質に合わせて設計されています。従来のOneAgentによるモニタリングでは、メトリクスとトポロジーはプロセスとホストに関連付けられていましたが、Kubernetesでは、コンテナ、ポッド、ワークロードに重点が置かれます。この変化により、Dynatraceはコンテナ化されたアプリケーション内部で実際に何が起きているのかを、Kubernetesネイティブのオブジェクトとメトリクスに沿って、正確かつタイムリーに提供できるようになります。

他の選択肢は、動作を誤って説明しているか（例サービスデータがない、またはOpenTelemetryが必要）、従来の監視とKubernetes監視の関係を過度に単純化している（例：同じ一般的な情報）ため、選択肢Eだけが唯一正しく、完全に正確なものです。

参考資料 :Dynatrace Universityの公式トレーニングコンテンツおよびアーキテクチャドキュメントに基づいています。

#### 質問: 18

複数のハイパースケーラーのリソースを単一のビューで表示できる機能はどれですか？

- A. Dynatrace Extensions v2
- B. ダイナトレースラム
- C. クラウドアプリ
- D. Kubernetesアプリ

正解: ([正解を表示します](#))

DynatraceのCloudsアプリは、AWS、Azure、Google Cloudなどの複数のクラウドプロバイダー（ハイパースケーラー）を横断する、統一された単一画面ビューを提供します。クラウドサービス、リソース、およびそれらの関係を、1つの集中型インターフェースに集約します。

この機能により、ユーザーは以下のことが可能になります。

- \* マルチクラウド環境を1か所で監視
  - \* さまざまなクラウドプロバイダー間の依存関係を分析する
- クラウドサービス、コスト、パフォーマンスを可視化する

他の選択肢ではこの目的を達成できません。

- \* 拡張機能v2は監視機能を拡張します
- \* RUMはエンドユーザーエクスペリエンスに焦点を当てています
- \* KubernetesアプリはKubernetes環境に特化しています

参考資料 :クラウドプラットフォームの監視とマルチクラウドの可視化に関するDynatrace Universityの公式トレーニング資料に基づいています。

#### 質問: 19

アプリケーションのログファイルには、エラーメッセージが含まれる場合があります。このようなメッセージが発生した場合は、サポートチームに調査を依頼したいと考えています。この要望に最適なDynatraceの機能は何でしょうか？

- A. イベントをログに記録する
- B. ログ処理ルール
- C. 異常検知ルール
- D. ログメトリクス
- E. ログビューア

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

ログイベントを使用すると、Dynatraceはログ内の特定のパターン（エラーメッセージなど）を検出し、アラートを自動的にトリガーできます。

これらは以下を可能にする：

- \* ログ内のエラーパターンの検出
- \* イベント／問題の作成
- \* サポートチームへの通知

その他の選択肢：

- \* ログ処理ルールはログを変換しますが、アラートは変換しません。
- \* 異常検知ルールはメトリックベースです
- \* ログメトリクスはログをメトリクスに変換しますが、直接アラートは発生しません
- \* ログビューアは手動検査用です

参考資料 :ログ監視とアラートに関するDynatrace Universityの公式トレーニング資料に基づいています。

質問: **20**

クラシックダッシュボードのレポートはどのくらいの頻度で送信されますか？（該当するものをすべて選択してください）

- A. 月刊
- B. 毎日
- C. 隔週
- D. 週刊

正解: **A,D** ([コメントを发表する](#))

従来のダッシュボードレポートはスケジュール設定が可能です。

- \* 週単位
- \* 月次

従来のレポート機能では、日次および隔週のオプションはサポートされていません。

参考資料 :Dynatrace Universityの公式レポート作成に関するトレーニング資料に基づいています。

質問: **21**

データエクスプローラーでは、1つのグラフにいくつかの指標を追加できますか？

- A. 3
- B. 5
- C. 7
- D. 10

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatrace Data Explorerでは、1つのグラフに最大10個のメトリックを追加できます。  
これにより、ユーザーは以下のことが可能になります。

複数の指標を並べて比較する

\* パフォーマンス指標を相関させる

分析のための包括的な視覚化を作成する

3、5、7などの小さい数値は、プラットフォームがサポートする最大値を反映していません。

参考資料 :Dynatrace Universityの公式トレーニング資料 [データエクスプローラー機能に関するもの](#))に基づいています。

質問: 22

次のうち、トレース内の単一の操作を説明しているのはどれですか？

- A. スパン
- B. トレース
- C. コンテキスト
- D. スパンの種類
- E. 輸出

正解: ([正解を表示します](#))

スパンは、分散トレース内の単一の作業単位を表します。

\* トレースとは、エンドツーエンドのトランザクション全体を指します。

\* スパンは、そのトレース内の1つのステップです。

その他の選択肢：

\* コンテキストにはメタデータが含まれます

\* スパンの種類によって役割が定義されます

\* エクスポーターはデータを送信する

Spanのみが単一の操作を表します。

参考資料 :Dynatrace Universityの分散トレーシングに関する公式トレーニング資料に基づいています。

質問: 23

ログのトレースエンリッチメントが有効になっている場合、取り込まれたログデータに追加されるプロパティは次のうちどれですか？（該当するものをすべて選択してください）

- A. dt.security\_context
- B. DT\_RELEASE\_VERSION
- C. dt.entity.process\_group\_instance
- D. dt.trace\_id

## E. dt.span\_id

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatraceでログのトレースエンリッチメントを有効にすると、分散トレースと関連付けるために、追加のメタデータがログに自動的に追加されます。

追加された主なプロパティは以下のとおりです。

- \* dt.trace\_id - 分散トレースを一意に識別します
- \* dt.span\_id - トレース内の特定のスパンを識別します
- \* dt.entity.process\_group\_instance - ログを特定の監視対象プロセスインスタンスにリンクします。これらの属性により、以下のことが可能になります。

ログとトレース間のシームレスな相関関係

- \* サービス全体にわたるエンドツーエンドの可観測性

ログをトランザクションに直接リンクすることで、根本原因分析が迅速化されます。

その他のオプションは、トレースエンリッチメントの一部ではありません。

- \* dt.security\_context はログアクセス制御に関連するものであり、トレースの強化に関連するものではありません。

- \* DT\_RELEASE\_VERSION はバージョン管理メタデータに使用され、トレースには使用されません

参考資料 :ログ監視とトレースログ相関に関するDynatrace Universityの公式トレーニング資料に基づいています。

## 質問: 24

あるチームから、AWS Lambda/Azure関数のコードレベルの情報をDynatraceで取得したいという依頼がありました。その関数がOneAgentで計測されていると仮定した場合、関数に関する情報を取得するのに最適な場所はどこですか？

- A. ホストページ
- B. サービスページ
- C. ログページ
- D. AWS/Azureページ

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatraceでは、サーバーレス関数 (AWS Lambda / Azure Functions) は、計測時にサービスとして表現されます。

サービスページでは、以下の情報を提供しています。

- \* コードレベルの洞察
- \* 分散トレース
- \* パフォーマンス指標
- \* 故障解析

その他の選択肢：

- \* ホストページはサーバーレスには適用されません
- \* ログページにはログのみが表示されます

\* クラウドプロバイダーのページにはインフラストラクチャレベルのデータが表示され、コードの詳細な分析は表示されません。参考 :Dynatrace Universityのサーバーレス監視に関する公式トレーニング資料に基づいています。

**質問: 25**

ビジネスイベントデータフローの概要を示す手順はどれですか？（該当するものをすべて選択してください）

- A. 分析
- B. キャプチャ
- C. 輸出
- D. プロセス

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatraceのビジネスイベントデータフローは、ビジネスイベントの収集、処理、分析に重点を置いた構造化されたパイプラインに従います。

\* キャプチャ - ビジネスイベントは、アプリケーション、API、外部システムなど、さまざまなソースから Dynatrace に取り込まれます。

\* 処理 - 取得されたデータは、Dynatraceプラットフォーム (Grail) 内で処理、強化され、保存されます。

\* 分析 - ユーザーは、ダッシュボードや DQL などのツールを使用して処理済みデータを照会および分析します。エクスポートは、ビジネスイベントのデータフローにおける主要なステップとはみなされません。データのエクスポートは可能ですが、Dynatrace で定義されている主要な取り込みから分析までのパイプラインの一部ではありません。

参考資料 :Dynatrace Universityの公式トレーニング資料 (ビジネスアナリティクスとGrailデータフローに関するもの)に基づいています。

**質問: 26**

Dynatraceは、拡張機能なしでネイティブにサポートしているクラウドプロバイダーはどれですか？

- A. アマゾンウェブサービス (AWS)
- B. Google Cloud Platform (GCP)
- C. DigitalOcean
- D. Microsoft Azure
- E. IBMクラウド

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatraceは、主要なハイパースケーラー向けにネイティブ統合（拡張機能不要を提供します）。

- \* アマゾンウェブサービス (AWS)
- \* Microsoft Azure
- \* Google Cloud Platform (GCP)

これらの統合により、クラウドサービス、API、およびメトリクスに関する詳細な可視性が提供されます。

その他のプロバイダー：

\* DigitalOceanとIBM Cloudは、ネイティブサポートのレベルでは同じレベルではなく、通常は拡張機能またはカスタム統合が必要になります。

参考資料 :クラウドプラットフォーム監視に関するDynatrace Universityの公式トレーニング資料に基づいています。

#### 質問: 27

ユーザーセッション内で見つけることができるデータポイントは次のうちどれですか？

- A. ユーザータグ
- B. セッションとアクションのプロパティ
- C. JavaScriptとリクエストのエラー
- D. ユーザーアクション
- E. サーバーサイドのコードレベルの洞察

正解: **A,B,C,D** ([コメントを发表する](#))

Dynatraceのユーザーセッションには、ユーザーの操作や体験に関する詳細な情報が含まれています。

\* ユーザータグ - ユーザーに割り当てられるカスタム識別子

\* セッションおよびアクションのプロパティ - セッションの動作を記述するメタデータ

\* JavaScriptとリクエストエラー - セッションに影響を与えるフロントエンドとバックエンドのエラー

\* ユーザーアクション - クリック、ページ読み込み、XHR 呼び出しなどのすべてのインタラクション。サーバー側のコードレベルの洞察は、ユーザーセッションビューに直接含まれるものではなく、サービスレベルおよび分散トレーシング分析に属します。

参考資料 :Dynatrace Universityの公式トレーニング資料 「リアルユーザーモニタリングとユーザーセッション」に基づいています。

#### 質問: 28

Dynatraceアプリケーションセキュリティ機能で利用できる重要な機能は何ですか？

- A. ランタイム脆弱性分析
- B. 自動脆弱性修復
- C. ランタイムアプリケーション保護
- D. オンデマンドコードセキュリティ分析

正解: ([正解を表示します](#))

Dynatrace Application Securityは以下の機能を提供します。

\* ランタイム脆弱性分析 - 実行中のアプリケーションにおける脆弱性の検出

\* ランタイムアプリケーション保護 (RASP) - リアルタイムでのエクスプロイトからの保護。ただし、以下の機能は提供されません。

\* 自動修復

\* 従来型の静的／オンデマンドコードスキャン

参考資料 :Dynatrace Universityのアプリケーションセキュリティに関する公式トレーニング資料に基づいています。

有効的な**Dynatrace-Associate**問題集はJPNTest.com提供され、**Dynatrace-Associate**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**Dynatrace-Associate**試験問題集を提供します。JPNTest.com Dynatrace-Associate試験問題集はもう更新されました。ここで**Dynatrace-Associate**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/Dynatrace-Associate-mondaishu> **84問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」